



令和3年度ふるさと支援基金（ふるさと納税）等活用事業

No.	寄附の目的	事業名	事業概要	事業費	サポート寄附金 充当額	令和3年度実績
1	子育て・福 祉・医療・健 康	ベビースマイル事業	子育て世代の交流の促進、趣味・特技が生かせる場を提供することを目的に、子育て総合支援センタースマイルキッズで、子育て中の市民と一緒に子育て世代の親子が参加できるフェスタの企画運営を行うとともに、子育て世代のサークル活動やイベント企画実施等を支援します。	32,110	32,110	「フォトコンテスト」を実施しました。未就学児の写った写真を応募し、応募作品をホームページで公開するとともにスマイルキッズで展示しました。
2		福祉医療事業 (単市事業分)	子育て世代の経済的負担を軽減することを目的に、県制度の乳幼児医療費助成に上乘せして、市町村民税所得割の額が136,700円を超える方に対して、市単独で医療費助成を行います。	30,243,036	30,000,000	未就学児の保険適用医療費の自己負担全額を助成しました。
3		子ども医療費 助成事業	子育て世代の経済的負担を軽減することを目的に、小学校1年生から中学校3年生までの児童の保険適用医療費（3割）について、2割を助成し、本人負担を1割負担とします。ただし、子どもの父母の市町村民税所得割の額が136,700円を超える世帯は、対象外です。	38,000,000	30,000,000	小学校1年生から中学校3年生までの児童の保険適用医療費の自己負担分を助成しました。令和3年7月分までは自己負担のうち2割を、8月以降は自己負担全額を助成しました。
4		子ども医療費 助成拡充事業	子育て世代の経済的負担を軽減することを目的に、小学校1年生から中学校3年生までの児童の保険適用医療費（3割）について、令和3年8月より助成割合を3割（全額）に拡充し、本人負担をなくします。ただし、子どもの父母の市町村民税所得割の額が136,700円を超える世帯は、対象外です。	10,567,562	5,000,000	小学校1年生から中学校3年生までの児童の保険適用医療費の自己負担分を助成しました。令和3年7月分までは自己負担のうち2割を、8月以降は自己負担全額を助成しました。
5		福祉タクシー 費助成事業	日常生活の利便性向上と生活行動範囲の拡大を促進することを目的に、「身体障害者手帳」1・2・3級、「身体障害者手帳」4級の下肢障がい、心臓機能障がい、呼吸機能障がい、療育手帳A・B、「精神障害者保健福祉手帳」1級のいずれかを所持する者を対象に、タクシー乗車の際に要した初乗運賃を助成します。	20,271,510	20,271,510	一定の障がいをお持ちの方に対して、山陽小野田市が指定したタクシー会社に限り、タクシーの初乗運賃を助成しました。29,808件の利用がありました。


No.	寄附の目的	事業名	事業概要	事業費	サポート寄附金 充当額	令和3年度実績
6		東京2020パラリンピック聖火フェスティバル実施事業	<p>東京2020パラリンピック開催に伴う山口県聖火フェスティバルにおいて、県内各市町で聖火を採火し、県に集火します。本市ではきららガラス未来館にてガラス文化を生かした採火行事を実施します。</p> <p>※令和2年度に実施予定でしたが、オリンピック・パラリンピックが延期となったため、令和3年度に改めて実施します。</p>	641,011	641,011	<p>東京2020パラリンピック開催に伴う山口県聖火フェスティバルのための採火について、きららガラス未来館において実施しました。</p> <p>また、これを記念したガラス作品を制作しました。</p> 
7	子育て・福祉・医療・健康	スマイルエイジング推進事業	<p>①本市の将来都市像である「活力と笑顔あふれるまち」スマイルシティ山陽小野田の実現を目的に、市民の健康寿命を延ばし、笑顔で年を重ねていくことを目指すスマイルエイジング「知守（しるまもる）」「食事」「運動」「交流」を全庁体制で推進します。</p> <p>②スマイルエイジングチャレンジプログラムを市民に対して周知し、楽しみながら健康づくりに取り組んでもらうことを目的に、ホームページやチラシ等で積極的に普及啓発を行います。</p>	125,180	125,180	<p>スマイルエイジングチャレンジプログラム冊子（庁内事業を集約し見える化したもの）200部、スマイルエイジングに関する市民啓発用チラシ1,000部を作成しました。</p> 
8		スマイルエイジングウォーキング推進事業	<p>市民の健康寿命を延ばすことを目的に、「運動」特に、歩くことに特化して以下の事業を行います。</p> <p>①ウォーキングに関するホームページの充実及びちらしの作成・配付（動機づけの強化）</p> <p>②ウォーキング講座の開催</p> <p>③ウォーキングマップの作成（集約）と見せる化</p> <p>④ウォーキング教室やイベントの開催及び情報の集約と見せる化</p>	274,274	110,865	<p>ウォーキングイベントや健康遊具体験を2回開催しました。38名の参加がありました。</p>



No.	寄附の目的	事業名	事業概要	事業費	サポート寄附金 充当額	令和3年度実績
9		自主防災組織 等育成事業	自主防災組織の活動を活発かつ継続的にすることを目的に、防災資機材や訓練に要した経費の補助を行います。	319,100	319,100	14自治会に補助金を交付し、自主防災組織の防災訓練や防災資機材等の整備に活用しました。 
10	市民生活・地域づくり・環境・防災	地域防災訓練 事業	市民の防災意識の向上及び地区防災組織活動の充実等を目的に、地区防災組織が実施する防災訓練に対し経費を補助します。	1,000,000	1,000,000	10地区に補助金を交付し、地域防災訓練や防災資機材等の整備に活用しました。 
11		避難所備蓄品 整備事業	災害発生時に避難所を開設し運営するに当たり、これまでも食料や生活必需品を中心に、日本赤十字社山陽小野田市地区による備蓄が行われています。市としても自助・共助を基本とし、コロナウイルスに代表される感染症対策も踏まえた避難所運営を目的に、必要な資器材を備蓄、整備します。	510,400	510,400	災害時に避難所で使用する、災害用トイレ及び目隠しテントを8セット、避難マットを100枚整備しました。
12		防犯カメラ設 置補助事業	犯罪のない安全・安心なまちづくりに向けた地域の自主的な取組を支援することを目的に、防犯カメラの新設経費の一部を補助します。これにより、地域における不法投棄等や人目のつかない空き家、通学路等への不審者の出現等の犯罪の発生を抑制し、万が一犯罪が発生した場合においても防犯カメラの映像が早期解決の糸口となり、犯罪の発生の防止に寄与します。	852,000	852,000	9自治会の防犯カメラ9台の設置費用の一部に充当しました。

No.	寄附の目的	事業名	事業概要	事業費	サポート寄附金 充当額	令和3年度実績
13	市民生活・地域づくり・環境・防災	移住定住プロモーション事業	<p>新型コロナウイルスの感染拡大に伴う都市部のリスク顕在化やテレワーク普及により、地方移住への関心が高まっています。本市への移住定住を促進するため、こうしたことも踏まえたうえで、ポータルサイトやパンフレット（マップ）を整備して市の魅力（生活スタイル）を伝えます。移住検討者に対して、本市を移住先・滞在先として選んでもらえるよう、移住促進の下地作りを進めます。</p> <p>①従前の対面での移住相談に変えて、オンライン（ポータルサイト）を活用した移住定住の情報発信を充実させます。 ②移住検討者に配布する「移住に特化したパンフレット」がないため、急ぎ作成します。移住フェア等の出展の効果を高めるとともに、通常業務において相談対応をするためのツールとしても活用します。</p>	7,997,000	7,997,000	<p>山陽小野田市移住定住情報ポータルサイト「SMILE LIFE」を構築しました。 山陽小野田市移住定住情報リーフレット「SMILE LIFE」を4,000部作成し、市役所や、やまぐち暮らし総合支援センター、やまぐち暮らし東京・大阪支援センター、おいでませ山口館（東京）、山口宇部空港に設置しました。</p> 
14	産業・観光	空き店舗等利活用支援事業	<p>市内の空き店舗の利活用を目的に、指定地区において、空き店舗を活用して事業をする者（既存事業者、新規起業者等）に対して、当該店舗での事業開始に係る「リニューアルの費用」の一部を補助します。 補助金額は、リニューアルの費用1/2以内、上限50万円とし、1事業者1回のみ申請可能です。</p>	1,000,000	1,000,000	<p>空き店舗や空き家をリフォームしてお店を開業した方へリフォームに対する補助金を交付しました。1件は小野田駅徒歩5分の駅前商店街エリアの空き店舗物件を改装し、脱毛サロンを新規開店しました。もう1件は、厚狭商店街エリアの空き店舗物件へ飲食店を移転し、新装開店しました。</p> 
15		創業応援金交付事業	<p>市内での創業促進を目的に、「山陽小野田市創業支援事業計画（平成28年4月に策定）」に基づく特定創業支援事業を受けて、市内で創業した方に対し、創業後1年経過したこと等を要件に、補助金を1年度につき10万円、3年間交付します。</p>	1,000,000	1,000,000	<p>市内で創業した10名に対し、創業後1年経過したこと等を要件に、応援金10万円を交付しました。</p>




No.	寄附の目的	事業名	事業概要	事業費	サポート寄附金 充当額	令和3年度実績
16		創業支援事業 (個別相談会、支援セミナー等実施事業)	市内での創業促進を目的に、「山陽小野田市創業支援事業計画(平成28年4月に策定)」に基づき、創業を希望する方への個別相談、会計処理相談などの各種相談会、創業セミナー等を実施します。また、創業された方に対しても、フォロー体制を整え、事業経営をブラッシュアップします。 商工会議所への委託事業とし、実施事業は市の創業支援事業計画に基づく「特定創業支援事業」と位置づけます。	1,975,900	1,975,900	山陽小野田市創業支援等事業計画に基づき、創業を希望する方への個別支援や会計処理相談などの各種相談会、創業セミナー等の実施を小野田商工会議所と山陽商工会議所に委託し、実施しました。
17	産業・観光	担い手支援事業	経営発展を目指す認定農業者等の担い手を確保及び育成することを目的に、農産物の生産や農業経営の開始・改善に必要な機械(10万円以上)や施設の整備に必要な経費の一部を、5年間の認定期間中に1回限り補助します。 補助金額は、認定農業者の事業費の1/2、機械：50万円・施設：100万円を上限とします。	4,853,000	4,853,000	パイプハウス、畦草刈機、コンバイン、農業用倉庫、乗用モア、施肥播種機、フロントローダー、バケット、ドローン用バッテリー、スーパーソイル、ウイングハローの購入費用に係る1/2を助成しました。 
18		新規就農者支援事業	経営の安定化及び次世代を担う農業者を確保及び育成することを目的に、経営の不安定な就農初期段階の新規就農者に対し、農業用機械や施設等の導入に必要な経費の一部を補助します。	1,528,000	1,528,000	ビニールハウス、音声式重量選別機、プチ耕転機、除鉄・軟水装置の購入費用に係る1/2を助成しました。 また、パイプハウス、選果梱包機のリース費用に係る1/2を助成しました。 

No.	寄附の目的	事業名	事業概要	事業費	サポート寄附金 充当額	令和3年度実績
19	産業・観光	観光プロモーション事業	平成30年度に実施した観光プロモーション調査事業を受けて、新たに設けたターゲット層を見据えた動画や観光パンフレットを令和元年度に作成しました。そのうち、本市の魅力的な観光資源を収めた動画は、市公式YouTubeで公開するとともに、令和2年度から始めたJR小倉駅のデジタルサイネージにも活用して情報発信しています。本市の認知度向上及び交流人口の増加を目的に、新たに作成した観光パンフレット「スマイル・スポット」は、山口県内及び北九州都市圏に居住する30～40代の女性を中心に配布しています。令和3年度において、当パンフレット（日本語版）が不足するため、2万部を増刷します。	968,000	968,000	観光パンフレット「スマイル・スポット（日本語版）」を20,000部増刷しました。
20		熱気球搭乗体験「そらから魅る超絶景!山陽小野田」	本市が誇る地域資源を活用するため、いつもとは違う空からの眺めで楽しむ「そらから魅る超絶景」事業を開催します。本事業は、一般社団法人山口県観光連盟の補助金を活用し、実施予定回数は年8回を想定しており、会場は「江汐公園」「小野田運動広場」「山陽オートレース場」を候補地として検討します。近年上り調子であった本市の観光客数も、コロナ禍により令和2年度は大幅な減少が予想される中、令和3年7月から12月に開催される「山口ゆめ回廊博覧会」は、減少した観光客数のV字回復に向けた絶好の機会と捉えており、今までにない観光資源として「熱気球搭乗体験」を実施することにより、周遊する観光客の本市への誘客効果を相乗的に高めます。	2,790,900	810,900	山陽オートレース場走路内（10月9日・10日）、江汐公園グリーン広場（10月23日・24日）、小野田運動広場（10月30日・31日）、厚狭球場（11月6日・7日）の市内4箇所で開催を実施し、191組811名の参加がありました。  
21		観光交流促進事業	本市の観光資源の認知度向上を図り、交流人口を増加させることを目的に、山陽小野田観光協会の情報発信経費（保守及び通信運搬費）と県外PR活動について補助金を交付します。観光協会ホームページやSNS（フェイスブック、Instagram）での観光情報の発信や、県外イベントや旅行会社への売り込みに参加します。	357,000	357,000	観光協会のホームページの管理運営や、フェイスブック、Instagramを活用したタイムリーな情報発信を行いました。また、山口県住みます芸人「どさけん」さんによるSNSでの情報発信も行い、市内外に向けて観光PRを実施しました。

No.	寄附の目的	事業名	事業概要	事業費	サポート寄附金 充当額	令和3年度実績
22	産業・観光	観光パンフレット等作成事業	本市への観光誘客、観光資源の認知度向上、交流人口の増加を目的に、山陽小野田観光協会の観光マップ「ええねえ山陽小野田市」の改訂・増刷（毎年1万部）及び手さげ袋やノベルティグッズの作成について補助金を交付します。観光マップは、市内外に設置し、ノベルティグッズイベントは、イベント参加者に対し配布します。	911,900	911,900	観光パンフレット「ええねえ山陽小野田市」を10,000部増刷及びノベルティグッズ（ウェットティッシュ1,000個、ボールペン2,000本）を作成しました。 
23		観光ボランティアガイド活動支援事業	山陽小野田観光協会が観光客等へのホスピタリティ向上を目的に、観光ガイド団体が実施する派遣事業、育成事業等に対し、助成金を交付し活動を支援します。	29,000	29,000	観光客等へのホスピタリティ向上を目的として、観光ガイド団体である山陽小野田語り部の会が実施する観光ガイド育成事業（5回）及び観光ガイド派遣事業（4回）に対し助成金を交付しました。
24		山陽小野田名産品活用促進事業	名産品の認知度向上及び販路拡大を目的に、山陽小野田観光協会に補助金を交付し、同協会内に設置している山陽小野田名産品推進協議会を通じ、名産品フェアの開催や関西同郷会での広報宣伝活動、新たな名産品の発掘や認定に取り組みます。	151,000	151,000	名産品のPR・販路拡大を目的として、名産品フェア（1月8日～10日）の開催や関西同郷会（6月12日）への景品提供によるPRを実施しました。
25		シティセールスPR強化事業	第二次総合計画において、「スマイルシティ山陽小野田」をキャッチフレーズとして打ち出したことに伴い、新たなCI戦略を進める上で、平成30年度にキャッチフレーズをモチーフにしたロゴマークを制作するとともに、JR厚狭駅新幹線口に市のPRポスターを掲示しました。令和2年度からは、JR小倉駅のデジタルサイネージを活用して市の魅力を発信しました。本市の認知度の更なる向上を目的に、令和3年度はJR下関駅のデジタルサイネージ（60インチ）を活用し、交流人口の増加を図ります。	982,300	982,300	JR厚狭駅新幹線口に市のPRポスターを掲示しました。 JR小倉駅のデジタルサイネージを活用して市の魅力を発信しました。
26		わがまちの魅力発信事業	市の認知度の向上や交流人口の増加、サポート寄附金の確保を目的に、レノファ山口をはじめとするプロスポーツの試合等の場を活用し、市の魅力のPRを実施します。令和3年度は、広島市マツダスタジアムでのわがまち魅力発信隊への参加、レノファホームタウンデー・サンクスデーでのブース設置を行います。	26,029	26,029	レノファ山口サンクスデーにおける、スタジアムでの本市PRブース出展と大型ビジョンでの市のPRを実施しました。

No.	寄附の目的	事業名	事業概要	事業費	サポート寄附金 充当額	令和3年度実績
27	産業・観光	シティセールスガイドブック作成事業	本市の魅力や住みよさを市内外にPRすることを目的に、令和2年1月、シティセールスガイドブック「SO smile」(B5横型28ページ)を4,000部作成し、移住フェア等で配布したほか、市役所等の公共施設に設置、ホームページにも掲載しました。令和2年度は、商業施設や住宅展示場、不動産会社等にも配布し、移住検討者等を対象に本市の魅力をPRしました。 また、市民課及び各支所の窓口で、転入者に配布しています。令和2年10月末時点で約3,500部を配布し、残数(500部)が僅かとなったため、令和3年度は3,000部増刷します。増刷時には、課名の変更や施設名称の変更等を行い、内容を最新の状態にして配布します。	984,500	984,500	シティセールスガイドブック「SO smile」の内容を更新し、3,000部増刷しました。 
28	教育・文化・スポーツ	キャリア教育推進事業	キャリア教育の推進を目的に、小学校7校、中学校5校で講演会を実施します。	347,267	347,267	市内12小中学校にて、49名の講師を招聘し、キャリア教育に関する講演等を実施しました。 
29		スマイル・サイエンス事業	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、科学作品展審査のみ実施し、一般公開は中止。	102,106	102,106	科学に対する関心と研究の意欲を醸成するため、小学生554作品、中学生986作品の中から、優れた科学的研究や創意工夫に基づく研究物・作品として、市長賞2作品(小・中学生から各1作品ずつ)、教育長賞9作品(小学生6作品、中学生3作品)を選出し、表彰しました。
30		ワイヤレスマイク更新事業	2005年に電波関連法令である無線設備規則において、無線設備のスプリアス発射(必要周波数帯の外側に発射される不要な電波)の強度の許容値が改正されました。規則の改正に対応することを目的に、公民館施設におけるワイヤレスマイク等の特定小電力無線機器について、該当するものを更新します。	496,540	496,540	各公民館に設置しているワイヤレスマイクを19本更新しました。

No.	寄附の目的	事業名	事業概要	事業費	サポート寄附金 充当額	令和3年度実績
31	教育・文化・ スポーツ	図書資料購入 事業 (経常分)	近年、高度情報化などが急速に進む中で、市民の学習意欲や増加する地域課題に対応した図書館資料の充実を目的に、各分野の図書資料を購入し、地域の情報拠点として整備します。	15,015,419	10,000,000	7,170冊の図書資料と58点の視聴覚資料の購入費用の一部に充当しました。  
32		図書資料購入 事業 (臨時分)	近年、高度情報化などが急速に進む中で、市民の学習意欲や増加する地域課題に対応した図書館資料の充実を目的に、各分野の図書資料を購入し、地域の情報拠点として整備します。 コロナの影響により在宅時間が増えたことは、読書機会を広げるチャンスでもある一方、図書資料の整備が利用者の需要を満たしているとは言えず、今後、より充実させていく必要があります。予算の拡充により、市民一人当たりの図書購入費を県平均レベルまで引き上げていきます。			
33		市民館維持整備 事業 (市民館整備 事業)	市民館の設備等の長寿命化を目的に、改修工事を実施します。令和2年度は、屋外高圧受電設備等更新工事、外壁改修工事、PCB含有物処理業務委託（高圧トランス・蛍光灯用安定器）、PCB含有物運搬料、駐輪場設置工事、舞台照明設備・舞台機構設備更新工事、駐車場ライン改修工事、植栽剪定を実施しました。 令和3年度は、空調設備更新工事及び文化ホール、体育ホール、第1・2会議室のワイヤレスマイク、ポータブルマイク、音響機器の更新を実施します。	57,456,300	1,815,000	館内各部屋の空調機器及び文化ホールの吸収式冷温水機の設備更新工事を実施しました。
34		文化会館大 ホール設備維 持管理事業	文化会館大ホールは、平成6年の開館から一定の年数が経過しています。快適な利用を目的に、各種設備の更新を行います。 ①舞台上部に設置している転幕、ボーダーライト、パトンなどを上下するためのロープは、摩擦など経年劣化により痩せて細くなり強度が落ちています。ライト等の落下事故を未然に防止するため、マニラロープの更新を行います。 ②開館以来使用しているスタインウェイピアノとヤマハピアノは、毎年保守管理をしていますが、今後も快適に使用できるようオーバーホールし点検・整備を行います。	1,067,000	1,067,000	大ホール舞台吊物設備（マニラロープ）を更新しました。

No.	寄附の目的	事業名	事業概要	事業費	サポート寄附金 充当額	令和3年度実績
35		ガラス文化推進事業	本市のガラス文化の推進を目的に、市内外の行事等に出張し、ガラス体験教室を開催します。 また、参加者へさらにガラス未来館をPRし、来館を促進します。	30,350	30,350	12月15日に下関市生涯学習プラザでジェルキャンドル体験を実施しました。 
36	教育・文化・スポーツ	周防灘干拓遺跡高泊開作浜五挺唐樋保存修復事業	国史跡浜五挺唐樋は、近世の周防灘における萩藩による開作（干拓）の実態を示す貴重な遺跡です。切石による精緻な構造は、当時の土木技術の到達点が良く示されており、山陽小野田市のまちづくりの原点を歴史的背景から学ぶことができます。 この史跡を、計画的かつ適正に保存管理することを目的に、修復工事を実施します。平成21年の工事実施以降、風雨や塩害等の影響により、招き戸やロクロ（滑車）の腐食が進行し、一部は破損しています。これらの修復を、泥土の浚渫を併せて実施します。今後は切石の石組も含めた保存修復についても、保存活用計画を策定したうえで、計画に沿った事業を進めます。	4,793,965	4,793,965	国史跡周防灘干拓遺跡高泊開作浜五挺唐樋の史跡内の汚泥を取り除く浚渫工事とロクロ・招き戸の修復工事を行いました。  
37		歴史民俗資料館管理運営事業（企画展）	より多くの市民、県民、歴史愛好家に郷土の歴史への興味を持ってもらうことを目的に、常設展示には無い、様々なテーマで企画展と講演会を開催します。 企画展は、歴史学、民俗学、考古学を分野とし、講演会は、企画展と関連する内容で行うなど、企画展の来場者の増加に繋がります。	1,301,851	1,301,851	企画展「山陽小野田のスポーツ史」に関連する記念講演会「厚狭毛利家家臣のライフサイクル」「火とともにある暮らし～昔の道具展～」を開催しました。

No.	寄附の目的	事業名	事業概要	事業費	サポート寄附金 充当額	令和3年度実績
38	教育・文化・ スポーツ	レノファ山口 との パートナー シップ事業	<p>スポーツによるまちづくりと市民の一体感醸成を目的に、山口県唯一のプロスポーツチームであるレノファ山口を活用し、選手による小学生とのスポーツ交流事業などを実施します。</p> <p>選手やスタッフ等と市民が交流する場を作ることにより、市民の一体感の醸成を促し、地域活性化やスポーツによるまちづくりを推進します。</p> <p>また、若者会議からの提案に基づき、練習拠点であるおのだサッカー交流公園周辺への幟旗の設置、クラブハウスへのエンブレムの掲示を行います。</p>	794,647	794,647	<p>保育園児とレノファ選手・スタッフの交流事業を2回実施し、特別練習見学やトレーニングマッチを公開しました。</p> 
39		キャンプ誘致 推進補助事業	<p>本市のスポーツ振興、地域の活性化、情報発信等を目的に、東京2020オリンピック競技大会及び東京2020パラリンピック競技大会の競技種目に係るナショナルチームが行うキャンプの誘致を推進し、予算の範囲内において補助金を交付します。</p> <p>※令和2年度に実施予定でしたが、オリンピック・パラリンピックが延期となったため、令和3年度に改めて実施します。パラリンピック終了後は、「パラサイクリングのまちPR事業」でパラサイクリング競技への支援を継続します。</p>	1,000,000	1,000,000	<p>東京2020パラリンピックの直前、パラサイクリング日本代表チームが山陽オートレース場で合宿を行い、合宿期間中に小学生との交流を実施しました。</p> 
40		パラサイクリングのまちPR事業	<p>東京2020パラリンピック開催までに、市民等がパラサイクリングを応援する機運を最大限に高めることを目的に、市内の様々な場所や機会を捉え、集中的にPRを行います。聖火リレー時に講演会を開催するほか、パラリンピック開催前の壮行会及び開催後の報告会を開催し情報発信を行います。また、パラリンピック会場へ職員を派遣し日々タイムリーな情報を提供することで、市のホームページやSNS、地元メディアを通じてより多くの市民に周知し、市民が一丸となって応援できる体制づくりに努めます。</p> <p>・パラリンピック開催日程：トラック競技（8月25日～8月28日 伊豆ペドローム）、ロード競技（8月31日～9月3日 富士スピードウェイ）</p>	880,438	880,438	<p>東京2020パラリンピックのパラサイクリング日本代表選手の壮行会を7月に開催、また大会後の10月に報告会を開催しました。大会期間中は、市ホームページなどで協議結果などの情報発信を行いました。</p> 

No.	寄附の目的	事業名	事業概要	事業費	サポート寄附金 充当額	令和3年度実績
41	教育・文化・ スポーツ	聖火リレー実 施事業	<p>オリンピック聖火は、平和や希望の象徴とされ、オリンピックムーブメントの中でも最も力強く、聖火ランナーがリレーにより全国をつなぐイベントで、本市においてもオリンピック・パラリンピックを身近に感じられる貴重な機会です。</p> <p>実施に向けたルート選定や諸準備、更には聖火ランナーの選出、セレモニーの開催など、聖火リレーの円滑な進行を目的に、県実行委員会の運営に対し、県及び県内19市町で負担金を支払います。</p> <p>また、スタート時に行われるミニセレブレーション時のウェルカムプログラムの実施や会場装飾経費、当日ボランティアや沿道観客への記念品配布等は本市独自の内容のため、負担金とは別に予算計上します。</p> <p>・走行路：（スタート）県立おのだサッカー交流公園～（ゴール）トヨタカローラ山口、山口トヨペット小野田店前 ・県実行委員会選出ランナー（2名）：権丈泰巳、川崎幹子</p>	2,019,033	2,019,033	<p>5月15日に市内で聖火リレーを実施しました。市選出のランナー2名も参加しました。</p> 
42		高校サッカー フェスティバル 運営事業	競技レベルの向上と県内外からの交流人口の増加を目的に、令和2年度で40回を迎える歴史ある高校サッカーフェスティバルを開催します。	59,084	59,084	第39回大会（令和4年3月開催予定）は新型コロナウイルス感染拡大を考慮し延期したため、事務経費のみ支出しました。
43	行財政運営・ 市民参画・ 市政情報の発 信	申請書作成支 援事業	<p>市民課では、令和2年度以降、通常の異動・証明発行等の手続きのほかに、マイナンバーカードの手続きでの来庁者が増え、窓口でいわゆる3密の状態になることが多いです。現在、窓口での申請は、目的ごとにそれぞれ申請書等を記入しなければならず、これも混雑の一因と考えられます。</p> <p>市民負担の軽減や庁舎滞在時間の短縮による市民サービスの向上を目的に、申請書作成支援システムを導入します。本システムは、マイナンバーカードや運転免許証に格納されている情報を利用して申請書に氏名、住所等の情報を入力することができ、様々な様式にも対応できます。今後、マイナンバーカードの普及に伴い、本システムを利用できる市民の方が増加することが見込まれます。</p>	3,190,000	3,190,000	<p>申請書作成支援システム（すなぐるタッチ）の窓口対応型を市民課窓口にて2台設置しました。</p> 

140,333,986

寄附金充当額合計